

新庁舎完成!

市民の皆さんと共に再検討!
結果、建設費を約16億円削減成功!
2018年5月より業務開始!

公約
実現1

吉川中学校建設!

最短のスピード!
平成32年春に開校!

公約
実現2

吉川美南駅東口開発

昭和の終わりから長きに渡っての案件となっていた「吉川美南駅東口開発」問題。■「吉川市民みんなの庭」となるような開発を!という新たなコンセプトを掲げ、国との協議をまとめ、いよいよ開発がスタート!

公約
実現3

ワクチン接種問題

「医師会の内部分裂」からはじまったワクチン問題。私は市長として、そのどちらに加盟することもなく、「市民が不便を強いられてきた状況を改善する」という方向で、「医師会に属していながら、属していない」、手を挙げていただいた医療機関でのワクチン接種を可能としました。■その後、医師会にお願いしている学校医・介護認定医の大量辞任があり、その関連についての質問が議会でもありましたが、私は、市長として、市民の健康福祉のための政策を展開しているのであり、医師会との対立を望んでいるわけではありません。■医師会には市民の政策、市民の願いをご理解いただけるように、これまで通りしっかりとお伝えしていきたいと考えています。■さらなる市民の健康増進のため、健康診査や検診などの保健事業について、一層受診しやすい体制の構築を進め、市民の利便性の向上を図ります!

公約
実現4

商工・農業 吉川市の幸福実感向上を目指した産業振興を!

1 これまで企業訪問や農家訪問を重ね、多くの方と意見交換!
2 そして様々な事業を展開!!
3 産業フェア開催
4 市のづくりアワード開催
5 市内企業ガイドブック作成
6 吉川市ブランド米「吉川のすく」
7 吉川ネギの取組拡大
8 シドニー、ベトナムへの海外販路拡大
9 新たな吉川市地域ブランド「大吉ブランド」制度確立
10 新たな特産品の開発や6次産業化の推進
11 婚活や新米宣伝など若者農業者との連携事業
12 地元産業との連携により返礼品拡充!
13 納税額が約5600万円UP!(H29年度末時点)
14 ふるさと納税

植物工場

千葉大学との連携の中で、植物工場の整備を目指しています!
■天候に左右されずに生産性を一定に保つ植物工場は「未来の農業」と呼ばれ、加工までの工程を備えれば、さらに農業を産業化する大きな拠点となります!
■また、イチゴやメロン、花蒔苗などの観光農園としても、さらに、障害者や高齢者の就労の場としても活用することが出来ます

なます

吉川市の先人と歴史に敬意と感謝を!
・全国なますサミット開催
・新たな「なます料理」「なます製品」の開発
・7月2日を「全国なますの日」に制定
・新庁舎に新たなシンボルとして「なますの石像」を設置
・市内全ての学校で「なます料理」給食を実施etc...
■「なますの日」として様々な方法、分野で「なます」にさらなる光を当ててゆきます!
■「養殖」商品開発「加工工場」「レストラン」等により、障害者、高齢者も働けるような「なます産業」の振興を!

市民との共働によるまちづくり

「市長キャラバン」
「ベトナムDay」
「どこでも市長」
「市長とランチミーティング」
「みらいステップアップ助成金」
「FMしがや・吉川情報番組」
「市政動画」
「市民シンクタンク」
「広報よしかわ」リニューアル!

市民の皆さんとのまちづくりが
マニフェスト大賞優秀賞に!

目指すべき次の共働は

自治会、大学、民間等との連携により、「地域課題を地域住民が解決するために、主体的に計画と予算を組み立てる」事業に、チャレンジします!

災害対策

2015年に吉川市史上初の「避難勧告」を発令!
災害は私達のすぐ目の前まで!?

「減災」&「自助」を理念に
・市役所に危機管理課を設置!
・減災プロジェクト/減災教育/減災講演減災リーダー育成などを展開!
その中で
・自衛隊、県防災部、吉川松伏消防、民間企業との連携!
・現実に近い市民訓練!
・子供達への災害対策教育を推進!
今後
・2019年の減災プロジェクトは「中曽根小学校区」を予定!
・内水被害軽減事業の展開!
→須賀・榎戸地区、吉川駅北口周辺、南中学校周辺
・要支援者名簿の再構築!
・福祉避難所の実践的運営訓練!
・吉川中学校への耐震性貯水槽の整備!
・地区ごとの減災計画策定への支援!
・河川改修等による治水!
・夜間や休日における災害の発生に備え、地域のマンパワーの活用による救護体制の充実を図ります。

旭地区

旭地区ビジョン
1 「教育環境の整備」!
2 「地域拠点の整備」!
3 「産業基盤の整備」!
4 こうした事業を展開しながら「若者・夫婦転入への支援制度」を確立!
旭地区の価値観や美しさに惹かれて転入する人口を少しずつ増やすことで、空き家対策、耕作放棄地・遊休農地の解消につなげます~

「ゾーン30」|「コーン設置」などにより、今後も地区の安全を高め、同時に生活道路の整備を進めてゆきます!
旭地区ビジョンにより、旭地区の特性や状況を活かした発展を目指します~

道路

【大きな道路】
吉川橋の建設も順調に進む中、そこから旧カスミまで続く道も2018年春に一部通行開始!
【生活道路】
①大場川を越えて三輪野江小学校に向かう道路の整備を進めます。
②榎戸・須賀地区から川麻地区に向かう道路の整備を進めます。
【生活道路】
③日おっかさん横や
④吉越橋・保の交差点近く
などの歩道整備を進めてきました!
吉川駅北口ロータリーの整備! & 駅前活性化を!

文化芸術

「長い時間の中で、施設や建物は朽ち果てても、文化芸術はその街の哲学として受け継がれ残るのです」
「文藝よしかわ実行委員会」の場で、挿絵師の選考委員を務めていただいた世界的絵本作家である葉祥明氏がそう話されていました。その「文化芸術」は未来への遺産であり、「文化芸術」への取り組みがその街の成熟度を表すのです。
そうした理念の下
beyond2020認証事業
beyond2020とは、東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に日本文化の魅力を発信するとともに、2020以降も見据えたレガシーを創出するための文化事業であり、吉川市の演劇事業も認証されました!

「市民意識調査」で満足度が78.2%もUP!
さらに中央公民館整備も進めてきました
①絵画展のライトアップ設置
②高齢者の為に舞台階段の手すり設置
③和室の畳替え
④側面反射板設置 etc...

教育

吉川市の教育理念を
①「志を立て学ぶ」
②「考える力・やり抜く力・協調性・リーダーシップなどの『非認知能力』の向上」
と定め、教育内容や環境の充実を図ってきました。
以下の事業をさらに展開
子供達を守る!
放課後通学路の防犯面での安全を高める施策を開始!

・旭小学校に導入した「タブレット活用」
・三輪野江小学校に導入した「プロの指導者から英語やスポーツが学べる放課後教室」
・北谷小学校に導入した、千葉大学との連携による「いじめ・不登校対策プログラム」
・栄小学校に導入した「特別支援学級でのタブレット活用」
・学童充実を目指した「あり方検討」環境整備を推進!
・「貧困の連鎖」を断ち切る「学習支援教室」を拡充!
・外国籍の児童生徒に対する「日本語学習支援」の充実!
・留学チャレンジ基金の設立!
・不登校・ひきこもりの子供達へ出張型を含めた新たな支援システム構築!
・「学校事務支援員の配置」や「校務支援システムの導入」による「教員の負担軽減」施策を、「障害者就労」の視点等を加えて推進!

障害者福祉

「当事者」「保護者」「特別支援学校」「障害者支援施設」「関係団体」の皆さんとの意見交換・共働を進めてきています!
専門相談員の配置/ヘルプカードの発行/市役所での就労体験コミュニケーション支援ボードの作成/発達支援研修会等の充実
さらに
・「障害者の就労と住まい」をテーマとした検討委員会開催!
→市内企業への就労支援を!
→グループホームなどの住みやすい環境整備支援を!
・「障害者 DAY」イベントの開催を!
・手話言語条例の策定を!
・「子ども発達センター」開設による療育の充実!
・芸術文化、スポーツ、就労、販売、啓発をキーワードに「障害者屋内スポーツ大会」開催!
・旧庁舎跡地を、高齢者・障害者の為の福祉の拠点に!

高齢者福祉

「高齢者福祉計画」を策定!
公共交通を補完する「高齢者タクシーチケット」の配布開始!
全ての高齢者(在宅)への「アンケート」「インタビュー」「訪問」を実施!
・高齢者の政策提案の場「市民シンクタンク」設立
・高齢者安心リンク&救急キット配布!
・高齢者生活スタイルブックを発行!
・在宅医療のサポート推進!
・「なます産業化」による高齢者雇用の創出!
・毎日「万歩運動」の実施
・シニア元氣塾開催
・吉川市グラウンドゴルフ大会開催
・単身高齢者へのサポート体制構築!
・高齢者安心リンク&救急キット配布!
・高齢者生活スタイルブックを発行!
・在宅医療のサポート推進!
・「なます産業化」による高齢者雇用の創出!
・毎日「万歩運動」の実施
・シニア元氣塾開催
・吉川市グラウンドゴルフ大会開催
・人生100年時代。健康は歯から! 9024 運動を展開!

子育て・保育

保育の量を確保するために、ここまで、約8.4億円かけ、認可・小規模保育を9園新設。
・保育の質を高める為に、私立認可保育園協議会、川村学園女子大学、吉川市で三者協定を締結。
・保育園をより利用しやすいとする為に、「兄弟姉妹加算」「ひとり親加算」等を見直し。
・さらに、「保育コンシェルジュ配置」「子供達の図書購入費支援」、また、保育士確保策として「宿舍借り上げ支援」「奨学金返済に対する補助」など、保育に対する様々な支援を展開!
今後は
・第二保育所の園舎を建て替え、発達に不安がある子供達を積極的に支援!
・新たに設置した「子育て包括支援センター」や「授乳コーナー」に加えて、「ファミサポ充実化」、「子育て応援広場」での支援充実、「乳幼児全戸訪問」などにより子育て支援の充実推進!
幼保無償化への対応。
・病児病後児保育のシステムの充実。
・幼稚園にも保育園にも行かない子供達への支援。
・虐待貧困問題への対策としての「であうきづく」つなぐ・つながる未来プロジェクトの推進。
・ひとり親の子供達への直接支援である「未来への輪」事業の推進。
・食育の推進。

環境

調和のとれた生活環境づくりを目指し
クールチョイス宣言しました!
墓地条例を改正しました!
「SDGs」への取り組み推進!
・市を挙げて取り組まなければならない環境課題は「エネルギー&水」です。「水素、もみがり、地元企業との共働」等をキーワードに、吉川市における家庭用・産業用のエネルギーのあるべき姿を示すことが、[3.11]への私達の姿勢となります。
・「水」に関しては二つの取り組みがあります。ひとつは「水道事業」です。今後も公営を維持できるよう、事業理念と計画をしっかりと打ち出し、「水道イベント」等で市民に向けた啓発活動も展開します。
・もうひとつは「川」です。「中川・大場川の改修」や「川まつり」により環境整備・啓発を進め、市民の生活に「川の郷・よしかわ」を取り戻してゆく中で「水環境」への取り組みを推進します。

おあしす

市長就任以来、約3年かけて、「市長キャラバン」「どこでも市長」「全戸配布アンケート」などにより市民の皆さんの声をまとめ、専門家を招いての検討も重ねてきた「おあしすの改修」。2017年の9月議会では、設計など約950万円の事業が可決され、改修事業は進んでいきましたが、2018年の3月議会において、突然、改修事業が反対されました。■市民要望のあった「食堂」や「交流スペース」などを「おあしす」に作り、「おあしす」に足りないといわれた「会議室」は新庁舎の中に多く作り「市民に開放」すること、また「障害者のさらなる就労」Wi-Fi整備、「雨水対策」等もテーマとしてあがっていたので、中止はもったいないです。■そうした結果を受け、2018年8月24~26日の3日間「市長キャラバン」を開催し、のべ113名の市民の皆さんと約7時間渡り意見交換を行いました。これまでも多くの皆さんが「未来に向けたおあしすの改修」を望んでおられ、この「市長キャラバン」においても、「防災」、「市のPR」、「女性の活躍、多様な働き方の支援」といった、さらに新しい視点からの改修案が多数あり、現在も「改修」は望まれておりと感じています。■しかし、市議会の判断を尊重し、事業は凍結としました。今後については、皆さんのこれまでの思い、意見をゼロにして、もう一度「おあしすの改修」がどうあるべきかをじっくりと考察し、こうした状況をプラスに変え、「次世代に価値あるおあしす」を残せるよう力を尽くしたいと思います。

郷土資料館

2018年、郷土資料館に眠っていた「和舟」を地元の方々のご協力の下修復し、「大場川」でのイベントに使用しました。今後は、資料館の貴重な資料等を有効活用出来るよう、資料館の場所も含めて見直しをかけ、光を当ててゆきます!
メディアによる
シティブロモーション
新聞、雑誌はもちろん、映画撮影(渡辺謙「怒り」)、岡田健一(「なごみ」)、ドラマ撮影(真地谷志朗「リビート」など)から旅番組、料理番組(宮川大輔「満天星空レストラン」など)、さらにラジオ番組等まで幅広く積極的にシティブロモーション活動に取り組んでいます!

川まつり

「川の郷・よしかわ」を取り戻そうと事業を展開中!
・H28は中川を舞台に「川まつり」を!
・H29はウェットランドを舞台に、カヌーによる「水辺で遊ぶ」を企画!
・H30は大場川での「和舟体験」開催!
・川柳の横並びには、「ベンチ」「簡易トイレ」の設置
・2019年春には、関公園へ「さぼろの桜」を植樹予定
→「東日本支援」を参照
「スポーツ推進課」を「教育委員会」から「市長部局」に移動し、スポーツと健康と長寿の連携を強化!
・野球・サッカー・ハンドボールのプロ選手による教室開催!
・子供から高齢者までが参加する吉川市グラウンドゴルフ大会開催!
・障害者屋内スポーツ大会開催!
・なまりんバスで行く市外ウォーキング開催(ひたち海浜公園など)!

20周年記念

H28は「吉川市市制施行20周年」でした!!
「吉川市の歴史と先人に敬意と感謝を」「吉川市の特産に光を」「多くの市民との共働」の3つをテーマに様々な記念事業を展開(全事業で合計61629人以上が参加くださいました!)。その理念を一年限りでおわらせず、しっかりと継続していきます!
主な「20周年記念事業」
・NHKラジオ公開放送「ふるさと自慢うた自慢」
・記念式典(熊本地震を受け中止)
・いっぺーよし!川まつり → 継続
・グラウンド・ゴルフ大会~吉川INQ.1決定戦 → 継続
・障害者屋内スポーツ大会 → 継続
・プロ選手によるスポーツ教室
「ハンドボール・サッカー・野球」 → 継続
・プロの生音コンサート → 継続
・テレビ番組公開放送「ふるさと自慢」なんでも鑑賞団
・吉川産米を使ったギネス世界記録に挑戦!
・オリジナルナンバープレート交付
・記念切手の販売
・絵本 吉川むしかばなし発行 → 2号発行
・10年後の手紙
・「文藝よしかわ」刊行 → 継続
・吉川市プロモーションビデオ作成
・記念カレンダー作成 → 継続
・記念ペットボトル(吉川のおいしい水)
・ロゴマーク・キャッチフレーズの作成
・さくらまつり → 継続
この他にも、
・なまりんのマンホール制作
・マンホールカバー作成
・なまりんガチャポン設置
などを展開しました!